

平成29年4月28日

各 位

会社名 株式会社スターフライヤー
代表者名 代表取締役社長執行役員 松石 禎己
(コード番号：9206 東証第二部)
問合せ先 取締役常務執行役員 柴田 隆
(TEL 093-555-4500)

中期経営戦略2017年度ローリング版の策定に関するお知らせ

当社は、このたび、平成27年度に策定した「“らしさ”の追求2020」(中期経営戦略2015～2020) 2017年度ローリング版を策定いたしましたので、お知らせいたします。

以上

Number : 17K006
 2017年4月28日

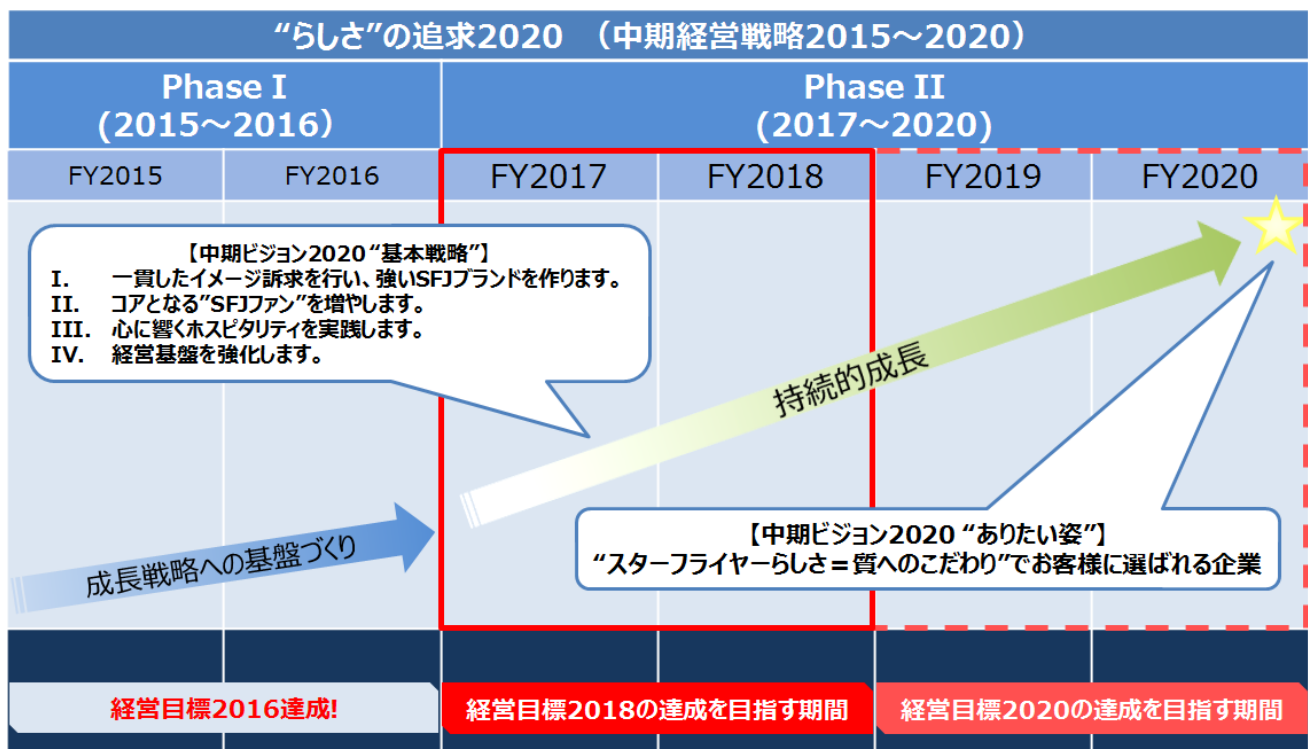
中期経営戦略「らしさ」の追求2020」2017年度ローリング版策定のお知らせ

株式会社スターフライヤーは、中期経営戦略「らしさ」の追求2020」2017年度ローリング版を策定いたしましたので、お知らせいたします。

今回の中期経営戦略「らしさ」の追求2020」2017年度ローリング版は、2015年5月の初版策定以降2回目のローリングとなります。これまでの各種取り組みの結果や新たな課題、また外部環境や今後の見通しの変化などを踏まえ、内容を修正・進化させております。弊社は、「スターフライヤーらしさ」を追求し質にこだわることでお客様に選ばれる企業」を目指しつつ、先行き不透明且つ変化が激しい環境下においても、経営目標の達成に向け、本中期経営戦略に基づき着実に一歩ずつ進んでまいります。

中期経営戦略「らしさ」の追求2020」2017年度ローリング版の概要は、以下のとおりです。

- (1) 本中期Phase IIの最終年度となる2020年度目標を策定の上、この達成と「持続的成長」の実現に取り組めます。



(2) 2016年度実績・2017年度計画・2018年度目標・2020年度目標は以下のとおりです。

	2016年度 実績	2017年度 計画	2018年度 目標	2020年度 目標
営業収入 (百万円)	34,886	37,000	38,400	45,000
営業利益 (百万円)	3,058	2,000	1,900	2,400
経常利益 (百万円)	2,985	2,000	1,700	2,400
当期純利益 (百万円)	1,931	1,000	1,200	1,300
売上高営業利益率 (%)	8.8	5.4	4.9	5.3
ユニットコスト ^(※1) (円/座席キロ)	11.0	11.3	11.2	10.3
純資産額 (百万円)	6,287	7,100	8,200	10,600
ネットD/Eレシオ (倍)	5.3	4.0	3.4	2.6

(※1) ユニットコストは燃料費を含みます。

(3) 過去の2年間に引き続き、中期ビジョン2020に基づくさまざまな取り組みを進めます。



(図2) 第二階層(中期ビジョン2020)全体像

I. 一貫したイメージ訴求を行い、強いSFJブランドを構築

Phase Iで明確化した「SFJブランド」の管理や社内浸透を進めつつ、Phase IIではマーケットに対する一貫したイメージ訴求に積極的に取り組みます。

II. コアとなる“SFJファン”の増加

昨年度は、WEBサイトのリニューアルやデジタルマーケティングプラットフォームの構築を行い、お客様にご利用いただきやすい環境の構築を行いました。また、今後更なる増加が見込まれるインバウンド（訪日外国人）向け運賃「Fly JAPAN Value Fare」を新設しました。

Phase IIでは、引き続きマーケットコミュニケーションの強化とお客様への提供価値の向上に取り組み、オフトラベルにおけるカスタマーエクスペリエンスの向上を目指します。

III. 最上級のホスピタリティ

「JCSI（Japanese Customer Satisfaction Index）^(※2)」の「国内長距離交通業種（国内航空）」で8年連続顧客満足度第1位の評価をいただいた弊社サービスの更なる質的向上を進め、“個性際立つスターフライヤーサービス”の研究と確立を目指します。

(※2) (財)日本生産性本部サービス産業生産性協議会による日本版顧客満足度指数

IV. 経営基盤の強化

2016年度までの本中期Phase Iでは一定度の成果を得ることができましたが、引き続き激しい環境変化に耐えうる財務基盤の強化と強固な利益体質の構築を継続しつつ、Phase IIでは中長期の成長を見据えた「攻める経営」へシフトします。

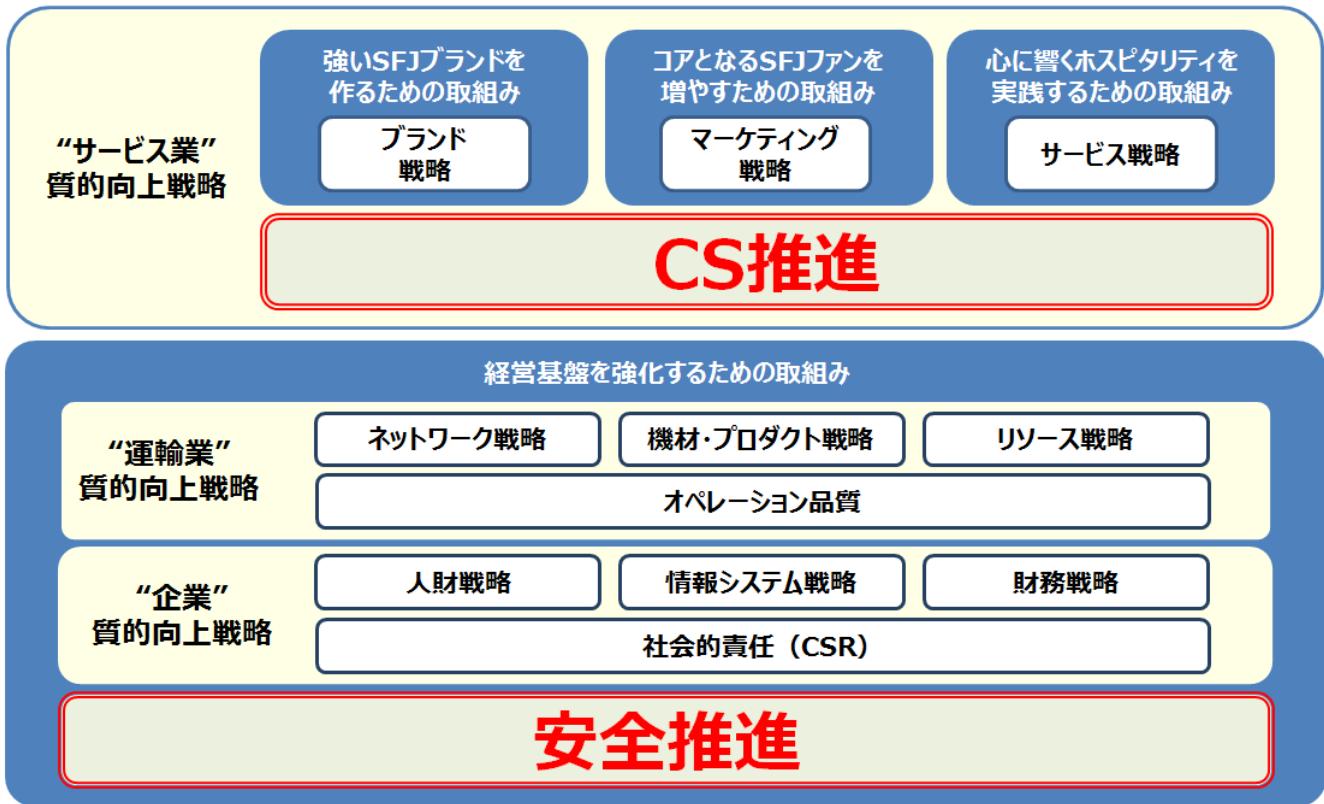
また、今後の持続的な成長に向けて旅客運送事業の拡大に着手します。2017年7月には北九州＝那覇線を開設^(※3)、さらには、2018年冬季ダイヤからの国際定期路線再参入を目指し、人財育成や体制の構築を進めます。

一方、企業としての質的向上のために、コンプライアンスやリスク管理の強化を進めるとともに、働きやすい職場作りのために「働き方改革」と「ワークライフバランス」を推進します。

(※3) 現時点では、2017年7月4日～2017年10月10日の夏季限定運航の予定

(4) 中期ビジョン2020を具現化するための各個別戦略については、下図の通りです。なお、2017年度ローリング版では、主に以下の修正を行いました。

- ① “CS推進”を“サービス業”質的向上戦略の基礎と位置づけ、「JCSI（Japanese Customer Satisfaction Index）」において、全業種における顧客満足度トップ10入りを目指します。
- ② “運輸業”質的向上戦略では、お客様へのタイムリーなご案内等旅客運送の視点を加え、従来の“運航品質”を“オペレーション品質”へ発展させました。
- ③ “企業”質的向上戦略では、“社会貢献(CSR)”を、社会への影響に対する企業の責任を認識した上で、さまざまな取り組みを継続する“社会的責任(CSR)”へ発展させました。
- ④ 従来の専門機能別組織体制を活かしつつ、全社共通の課題に対し組織横断的なテーマ別の「プロジェクトユニット」を設置し、部門の壁を超えて総合力を発揮させる体制を構築します。



(図3) 第三階層の全体像

中期経営戦略2015～2020の詳細は、別紙1「“らしさ”の追求2020（中期経営戦略2015～2020）2017年度ローリング版」をご覧ください。

これからもお客様にご満足いただけるようサービスの向上に努めてまいります。新たなスターフライヤーにご期待ください。

以上